

店舗エントランス部 空調方式比較表

方式名 装置名称	エアゲート方式(外部設置)	冷水・温水エアーカーテン方式(風除室内埋込)	電気ヒーターエアーカーテン方式(風除室内露出)	電気ヒーター付エアーカーテン方式(風除室内露出)
装置名称	エアゲート装置	天井埋込型吹降し式エアーカーテン装置	天井下露出型吹降し式エアーカーテン装置	天井下露出型吹降し式エアーカーテン装置
内容の説明	下図のように、①柱の背面ガラリより外気を取り入れヒーターにて温調した空気を反対側(通路側)よりプッシュエアードとして吹出します。 ②柱に吸引、吹出された後、③柱に吸引され、エアは1/2が上部天板を經由して①柱に循環エアードとして戻ります。プッシュプル方式を採用している為、外気遮断には効果大です。	下図のように吊り天井下面より吸引したエアードを冷温水コイルにて冷房または、暖房されたエアードが吹出し口より下方へ吹出し空調を保護します。	下図のように吊り天井下面に露出して設置されます。側面より吸引したエアードを電気ヒーターにて暖め、吹出口より下方へ吹出し、空調を保護します。	汎用のエアーカーテン装置を使用します。下図のように吊り天井下面に露出して設置されます。上部より吸引したエアードを電気ヒーターで暖めて吹出口より下方へ吹出し、空調を保護します。
特徴	気流方式をプッシュプル方式と循環式の組合せにより遮断効果と温調された空気の1/2を循環させ、エネルギーロスを減少させることができます。また、ステンレスヘアライン仕上げの為美観がすぐれています。ドアは原則として内側に開閉使用となります。	天井埋込式の為、天井面に吸込口と吹出口のみが見えます。仕上りはすっきりしています。冷温水コイル内蔵により冷暖房したエアードが供給できます。但し、冷温水配管及びドレン配管が必要となります。	天井内のスペースが少ない場合に設置される方式です。この方法ですと電気ヒーターの内蔵が可能となりますので、温水配管が不要となります。電気ヒーター組込みですので天井内設置はできません。	天井内のスペースが少ない場合に設置される方式です。送風・温風吹出しの選択が可能です。電気ヒーター組込みですので天井内設置はできません。
概要図				
主な工事内容	柱を床面にアンカー止めを行い、転倒防止をします。 (フローアヒンジにかぶらないように設置要) 機械室等に制御盤を取付け。(電気配線・操作配線は電気工事) 操作盤は本体内蔵式となります。	建設天井より吊りボルトを下げ、吊り込みを行います。 吊り天井は吸込口、吹出口部の開口及び化粧が必要となります。機械室等に制御盤を取付け。(電気配線・操作配線は電気工事)	建設天井より吊りボルトを下げ、吊り込みを行います。 機械室等に制御盤を取付け。(電気配線・操作配線は電気工事)	建設天井より吊りボルトを下げ、吊り込みを行います。 本体にパネルスイッチ取付け、及び1次側2次側の電気工事が必要となります。
総合評価 (◎・○・△)	△	△	○	◎
価格 能力	◎ 冷気・暖気の流出入を効率良く効果的に遮断します。	△ 遮断効果中(冷暖房可)	○ 暖房のみ	○ 暖房のみ